

「空き家」対策セミナーPart 2 — 第2期条例への課題

老朽空き家等の適正管理条例 — 運用成果と新しい課題

～増え続ける空き家—法的拘束力(行政指導・処分)のリスクマネジメント、建築基準法実施条例の制定～

- [東京・足立区]老朽家屋の対象事例の拡大と行政指導・行政処分のリスクマネジメント
- [秋田・大仙市]空き家対応(解体・代執行)の成果と空き家台帳・バンクの活用
- [千葉・市川市]全国初の建築基準法実施条例の制定のねらいとプロセス、運用
- 空き家条例の到達点と法的論点、第2期条例に向けた課題

講師陣
吉原 治幸 氏／東京都足立区都市建設部建築室建築安全課長 吉原 豊 氏／千葉県市川市街づくり部住環境整備課長
進藤 久 氏／秋田県大仙市総務部総合防災課長 北村 喜宣 氏／上智大学法科大学院教授

2013年8月21日(水) 10:00～16:50 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

10:00 ～ 11:20	<p>東京・足立区「老朽家屋等の適正管理に関する条例」の運用による成果と今後 ～対象事例の広がり条例運用、法的拘束力、住民との会話(交渉)、課題～</p> <p>1. 対象事例の拡大と運用：復興税充当(助成金の前倒し予算)と耐震化促進事業の連携 足立区 吉原 治幸 氏</p> <p>2. 法的拘束力：行政指導と行政処分(不利益処分：公表、命令、代執行)のリスクマネジメント</p> <p>3. 住民対応：該当建築物に対する関係人の調査、応対</p> <p>4. 課題：全国レベルの課題と足立区の課題の違い <質疑応答></p>
11:30 ～ 13:00	<p>秋田・大仙市「空き家等の適正管理に関する条例」の運用成果と課題 ～空き家対応(解体・行政代執行)の成果と空き家バンクシステムの活用～</p> <p>1. 空き家対応の成果：自主解体と助成金活用事例、行政代執行による解体事例 大仙市 進藤 久 氏</p> <p>2. 空き家台帳システムの活用：空き家マップの活用</p> <p>3. 空き家バンクの活用：空き家バンクシステムの構築と運用</p> <p>4. 課題：増え続ける空き家 <質疑応答></p>
13:50 ～ 15:10	<p>千葉・市川市「空き家等の適正な管理に関する条例」の仕組みとその運用 ～建築基準法に関する法律実施条例の制定とその経緯等～</p> <p>1. 建築基準法に関する法律実施条例の制定とその経緯 市川市 吉原 豊 氏</p> <p>2. 条例の仕組み</p> <p>3. 条例の運用状況と課題 <質疑応答></p>
15:20 ～ 16:50	<p>老朽空き家等への対策の法的論点 上智大学 北村 喜宣 氏</p> <p>1. 空き家条例の到達点 4. 所有者不明事案への対応</p> <p>2. 第2期条例の課題 5. 老朽空き家対策における都道府県と市町村の関係</p> <p>3. 即時執行と事務管理 <質疑応答></p> <p>略歴：京都市生、1983年神戸大学法学部卒業、1986年神戸大学大学院法学研究科博士課程前期課程修了。1988年カリフォルニア大学バークレイ校大学院「法と社会政策」研究科修士課程修了、1990年横浜国立大学経済学部助教授、2001年より現職。1991年神戸大学法学博士。著書に『自治体環境行政法(第3版)』(第一法規・2003年9月)等。</p>